

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

○会員総数

団体等の種類		会員数
民間団体	社会福祉法人	7
	NPO	4
	社団法人・財団法人	6
	任意団体	7
	その他	4
行政機関		4
個人		1
合計		33

○会員一覧（公開可としている団体会員のみ）

団体等の種類	団体名等	活動分野	活動内容の概要	活動内容の詳細	活動地域	団体等HP	備考
社団法人・財団法人	公益社団法人にいがた被害者支援センター	犯罪被害者	犯罪等により被害を受けた被害者及びその家族や遺族に対して、専門の資格を持つ犯罪被害相談員等による電話・面接相談、付き添い支援等の直接的支援活動と、被害者支援の意義や重要性を広く周知する広報啓発活動等を関係機関・団体と連携し行っている。	犯罪等被害に遭い辛い思いを誰にも話せず、一人抱えている被害者等に対して、孤独・孤立から解放されるように電話相談、面接相談及び行政機関、弁護士相談、医療機関等への付き添い支援等被害者に寄り添った各種支援活動を展開している。また、センター周知のための各種広報活動を推進している。	県内全域	http://www.n-vsc.jp/	幹事団体
社団法人・財団法人	新潟市パーソナル・サポート・センター	生活困窮者／就労支援／その他(住まいの相談)	新潟市内の方々を対象として相談支援を行っている。仕事や暮らしに関して様々な問題を抱え、日常生活や経済上の自立が困難な方に寄り添い、包括的かつ個別的に支援を行っている。	どこにも相談できず、当所に来た段階で多くの課題を抱えている方のお話をお聞きし、解決すべき課題に優先順位をつけると共に、適切な機関やサービスをご案内し、本人が安心して相談したり、参加できる場所を増やしていけるよう支援を行う。	新潟市	https://www.niigataken-rofukukyo.com/psc_about/	幹事団体
任意団体	新潟県児童養護施設協議会	その他(社会的養護)	児童養護施設に関する研究を行うとともに職員相互の親睦を図り、児童の福祉に寄与することを目的とする。 (事業) (1) 施設の運営・養護技術の研究に関すること。 (2) 研修会の開催に関すること。 (3) 職員交流会議に関すること。 (4) 県外研修に関すること。 (5) その他必要とする事業に関すること。	新潟県児童養護施設協議会は、児童養護施設をはじめ乳児院、ファミリーホーム、自立援助ホーム等で構成される社会的養護児童を支援する施設のネットワークです。多くの施設では施設の退所後に孤独や孤立を感じ、社会とのつながりが希薄になる児童が多く、アフターケア等で様々な相談援助、助言、生活支援を行っています。 また進学などについても経済的な課題から進学を断念せざるを得ない児童も多いことから、協議会において「よつば基金」という基金を創設し、大学や専門学校進学のための資金援助を行っています。 逆境体験による「心のけが」を抱える児童も多く、支援・養育において難しさを感じることも多いことから、心理士や養育者の研修会、外部施設への見学研修や社会的養護児童の支援の充実のための様々な実態調査等を通じて、より質の高い専門性を習得すべく施設同士のネットワークを構築しています。	県内全域		幹事団体

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

社団法人・財団法人	一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会	生活困窮者／いじめ・不登校・学校生活での悩み／妊娠・出産・子育て／障害者／高齢者	民生委員・児童委員や民生委員児童委員協議会の活動の活性化のための調査研究、研修、互助などの事業を行っている。	・令和7年5月孤独・孤立対策強化月間全国キャンペーンの周知を、市町村民生委員児童委員協議会（新潟市を除く）を通じて、各委員（約3,400人）に対して行った。 ・新潟県内に180ある地区民生委員児童委員協議会（新潟市を除く）においては、日頃の活動の中で孤独・孤立対策に関係する活動を行っている。具体的には、（1）高齢者世帯等への見守り・訪問活動 （2）地域の茶の間や子ども食堂における活動 （3）小学生、中学生の登下校時の見守り・声掛け活動 （4）地域ぐるみで災害時の要援護者支援に備える活動 などを行っている。	県内全域		幹事団体
その他	新潟県地域生活定着支援センター	犯罪をした者等・再犯防止／障害者／高齢者	刑務所等などの矯正施設に入所している福祉の支援が必要な高齢者や障がい人たちが地域で安心安全に生活できるように、司法と福祉の「架け橋」として、地域の様々な資源と共に支援を行います。	業務内容は大きく分けて五つあります。一つ目は保護観察所からの依頼に基づき、矯正施設入所者等を対象として、関係機関と連携しながら福祉サービス等の調整を行う「コーディネート業務」。二つ目はコーディネート業務で調整した対象者が地域でより良い生活を送れるように一定の期間生活状況の確認や必要な助言を行う「フォローアップ業務」。三つめは保護観察所からの依頼に基づき、刑事収容施設に身体を拘束されている被疑者等を対象として、福祉サービス等の利用調整を行い、釈放後に必要な援助を行う「被疑者等支援業務」。四つ目は矯正施設等から退所した方や、刑事収容施設等から釈放された方などの福祉サービス利用に関して本人や関係機関からの相談に応じ、助言や必要な支援を行う「相談支援」。五つ目は各業務を円滑かつ効率的に実施するための必要な役割や連携を行い、事例検討会、研修会、会議等の開催や参加、講師などを行う「啓発業務等」です。	県内全域	https://csw-niigata.com/activity/improve/sustain/	幹事団体
社団法人・財団法人	一般社団法人イノベーションみらい	生活困窮者／ひきこもり／子どもの貧困／児童虐待／ひとり親家庭	活動内容 1 生活困窮や児童虐待・ひとり親など、複合的で複雑な背景を抱えた世帯に対して実施。支援内容は、子どもの居場所活動、食糧支援、相談支援 2 メンタルヘル스에悩みを抱えた母と子のための居場所	活動内容 1 生活困窮や児童虐待・ひとり親など複合的で複雑な背景を抱えた世帯の子どもたちに対してアウトリーチでプッシュ型の支援を実施。支援内容は、子どもの居場所活動（食事、学習支援、遊び、社会体験活動、食糧支援）、居場所に来所できない世帯に対しては食糧支援や相談支援を実施（利用料無料）行政や専門職からの紹介で世帯とつながり、世帯へのラベリングを避けるためにクローズドで運営。支援者は、保育士、教員、助産師、子育て支援員等の専門職がボランティアで運営をしています。 2 メンタルヘル스에悩みを抱える母と子のための無料の居場所を運営。オープンスペースに精神的負担感を感じている母と子のために少人数で居場所活動を実施。必要に応じてアウトリーチで送迎を実施。行政や医療機関、専門職からの紹介制です。支援者には心理士、助産師、カウンセラー、保育士、社会福祉士等の専門家がボランティアで運営をしています。	新潟市	https://www.innovatimirai.net	

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

社会福祉法人	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	その他(地域福祉)	県内の公私の社会福祉関係者の参加と協力のもと、「共に生き共につくる福祉社会を目指して」を基本理念に、住民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりのための活動に取り組んでいる。	<p>1 市町村社協が取り組む地域福祉活動の推進をととした孤独・孤立対策への支援 孤独・孤立対策を地域福祉活動の一環として取り組む市町村社協の孤独・孤立対策に係る事業（※）が効果的に推進されるよう助言や人材育成、情報提供等の支援を行う。 ※安否確認・見守り、居場所づくり、食事サービス、ひきこもり支援、仲間づくり交流事業など</p> <p>2 日常生活自立支援事業（※）の実施をととした孤独・孤立対策 判断能力に不安のある高齢者や障害者が地域で安心して自立した生活を送れるよう支援する日常生活自立支援事業の実施をととして、身寄りのない方に対する福祉サービス利用援助、金銭管理サービスの提供や定期的な訪問により孤独・孤立を予防する。 ※当会が実施主体で業務の一部を市町村社協に委託</p>	県内全域	https://www.fukushin-iigata.or.jp/	幹事団体
行政機関	三条市（福祉保健部地域包括ケア推進課）	自殺対策／メンタルヘルス／生活困窮者／ひきこもり／児童虐待／配偶者暴力（DV）／犯罪被害者／障害者／高齢者／薬物・アルコール等依存	当市では地域福祉計画、重層的支援体制整備事業実施計画及び自殺対策計画等を通じて、各種相談窓口の設置や地域づくりへの支援などを行っている。	国や県の孤独・孤立問題に対する施策や県内で活動する各種団体の活動について関心がある。	三条市	https://www.city.sanjo.niigata.jp/	
社会福祉法人	社会福祉法人新潟県共同募金会	その他(各種福祉活動に取り組んでいる団体への助成)	赤い羽根共同募金から福祉活動へ助成を行っている。	フードバンクや子ども食堂など子どもの貧困に関する事業に助成を行っている。	県内全域	https://akaihane-niigata.or.jp/	
NPO	新潟ねっと	メンタルヘルス／生活困窮者／就労支援／ひきこもり	2015年より生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業を受託し活動をしています。また、ひきこもり状態にある方の支援においては、個別支援の実施や県内各地で講師活動をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援制度 就労準備支援事業（新潟市より受託） ・村上市重層的支援体制整備事業 スーパーバイザー ・関川村重層的支援体制整備事業 スーパーバイザー ・静岡県島田市社会福祉協議会 アウトリーチ事業 アドバイザー ・講師活動『ひきこもりの理解と支援』『アウトリーチの実践』など（新潟県内各地） 当事者の個別支援やご家族からのご相談をお受けしています。	県内全域	http://niigatanet.com/	
その他	グリーフケアこもれびのなか	自殺対策／メンタルヘルス／その他(遺族支援、遺児支援、医療福祉との協働)	遺族支援、遺児支援、遺族や支援者への講習、医療福祉関係者との協働	2012年より遺族支援（グリーフケア）の活動を始めて13年目になりました。 死別の理由（病気、事故、自死など）や対象（親族、友人、同僚）、死別の時期は不問です。 支援の形態としては、個別の面談、遺族同士の集い、遺族や支援者向けの支援講座（成人のグリーフケア、子どものグリーフケアの2種類）医療福祉関係者への講習を柱としています。 主として18歳以上の成人を対象としておりますが、あしなが育英会資格を取得し、2022年から遺児支援も行っていきます。 また、遺族が抱える問題は悲嘆といった感情面の問題だけではなく、住居や仕事、金銭、健康など、多岐に渡るため、医療や福祉の関係者との協働や交流も行っていきます。	県内全域	https://griefcarek.exblog.jp/	

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

その他	いわふね市民法律事務所	自殺対策／生活困窮者／児童虐待／ひとり親家庭／配偶者暴力（DV）／犯罪被害者／障害者／高齢者／外国人・在外邦人／人権侵害・性的少数者	地域密着型の法律事務所です。	行政・福祉・介護・医療・金融・商工・NPO団体をはじめとする人権擁護の担い手である地域の方々と連携し、法的権利の実現に取り組んでいます。	村上市、関川村、粟島浦村	https://iwafune-shimin.jp/	
社会福祉法人	社会福祉法人愛宕福祉会	メンタルヘルス／生活困窮者／就労支援／ひきこもり／子どもの貧困／妊娠・出産・子育て／児童虐待／障害者／高齢者	当法人は下越エリア、佐渡などで社会的養護、児童、障がい、高齢の福祉事業を行う社会福祉法人です。事業運営の支援以外でも地域の関係機関等と連携したフードドライブ活動、地域の学生活動支援等を行っています。	当法人は、内閣府の官民連携プラットフォームに参加しており、孤独・孤立の問題に強い関心を持って地域での活動を進めています。社会福祉法人である当法人が行う各種福祉事業においては、事業対象となる方において孤独・孤立の課題は顕著な場合が多くあり、そうした対象の方への日常的な支援を進めるとともに、地域での課題解決を進めることの重要性を認識しております。 そうした中で、当法人ではSDGs推進室を法人内に設けて、各種活動を行うとともに、県内で事業を行っている事業所に対しても地域活動の実践を推奨しております。具体的には、地域の関係団体と連携して行うフードドライブ活動、学生等への生活支援、地域の一人暮らし世帯へのお助け隊などが主な内容になっています。また、令和7年については、内閣府が進めております『つながりサポーター養成講座』の実施団体として2026年2月に新潟市、新発田市に実施を計画しています。	村上市、関川村、胎内市、新発田市、新潟市、佐渡市、燕市	https://www.atago.or.jp/	
社会福祉法人	長岡市社会福祉協議会	障害者／高齢者	長岡市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする団体として、人とひと、人と地域のつながりを大切にし、誰もが安心して自分らしく暮らし続けられる地域づくりを進めています。	長岡市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする公共性・公益性の高い民間非営利団体として、誰もが安心して自分らしく暮らし続けられる地域づくりを進めています。 特に、現代社会で深刻化する孤立・孤独の問題に対し、人とひと、人と地域のつながりを育むことを重視しています。身近に相談できる人がいることや、気軽に立ち寄れる居場所があることは、孤独感を和らげ、生きる安心や楽しみにつながります。そのため、住民主体の地域福祉活動やボランティア活動を支え、困難や生きづらさを抱える人も参加しやすい場づくりを進めています。また、判断能力に不安がある人も地域で自立した生活を続けられるよう、多様な支援を行い、誰も取り残さない地域づくりを目指しています。	長岡市	https://www.nagaoka-shakyo.or.jp/	
任意団体	身寄りなし問題研究会	生活困窮者／ひとり親家庭／配偶者暴力（DV）／犯罪被害者／障害者／高齢者／薬物・アルコール等依存／外国人・在外邦人／人権侵害・性的少数者	『身寄り』問題は、排除の問題であり、権利擁護の課題。 まず、『身寄り』がなくても居住・医療・介護・就労等から排除されないような支援や仕組みが必要とされます。『身寄り』がなくても障害など生きづらさを抱えても「本人らしく生きる」を支援しています。	身寄りがいないのでアパート契約できない、就職できない、施設入所できない、手術のときに立ち会い人を求められた、孤独死が怖い… そしてケアマネジャーや生活保護ケースワーカーなどの支援者たちがシャドーワーク（業務外の仕事）をして身寄りのない方を支援している現状。『身寄り』がないことはもはや「例外」ではなく、「第2のスタンダード」であるとの考えのもと、地域全体で『身寄り』問題を直視し、解決に向けて行動する必要があります。 そして『身寄り』問題は、排除の問題であり、権利擁護の課題です。 まず、『身寄り』がなくても居住・医療・介護・就労等から排除されないような支援や仕組みが必要とされます。『身寄り』がなくても障害など生きづらさを抱えても「本人らしく生きる」を支えていきたいと考えてます。 身寄りなし問題研究会は「身寄り」問題を軸に様々な社会課題を発信し解決の道を模索していく団体です。	県内全域	https://miyorinashi.com/	

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

任意団体	コドモバ	ひきこもり／いじめ・不登校・学校生活での悩み／妊娠・出産・子育て／児童虐待	コドモバは、地域内外の18歳未満の子どもたちに対し、他者と関わり合い、社会性を学ぶことができる場所を提供・拡充することを目的とした福祉活動に従事する。 この目的のために拠点となる私設児童館及び移動児童館を運営し、子ども達へ遊び・学び・交流の機会を提供することによって、子ども達の健全育成、地域交流の活性化の向上に寄与する。	本会は左記の目的を達成するために次の事業を行う。 私設児童館・移動児童館の運営、子どもと地域の大人の交流の場の提供、組織を経済的に支えるための駄菓子販売、組織を経済的に支えるためのチャリティーイベント 現在は新発田市市内にて、週2回放課後の時間帯に遊べる駄菓子屋を運営中。 他、地域団体等の依頼を受け、出張児童館の実施、子どもの居場所づくりのためのサポート事業を行う。	新発田市、新潟市、胎内市、聖籠町、村上市	https://www.instagram.com/kodomoba.niigata/	
社団法人・財団法人	一般社団法人新潟県ひとり親家庭福祉連合会	生活困窮者／就労支援／ひとり親家庭	ひとり親家庭等の生活の安定と福祉向上を目的として自治体や企業などと連携し、就業支援、養育費相談、各種福祉制度の案内、親子の交流や仲間づくりの機会の提供などに取り組んでいる。	・情報交換セミナーにて交流会の他に、親子クッキング・リース制作・メンタルセミナー・マネープランセミナーなど開催。（年6回程度） ・助成金、寄附金事業にてバスツアー、スキー体験、音楽演劇鑑賞などで親子同士の交流を実施。（年10回程度） ・就業・生活・養育費相談について相談者の希望する方法にて対応し、その後もフォローアップ体制を実施。 ・就業支援セミナーにおいて「おしゃべり会」を実施。（年5回） ・毎月第2・4木曜日、弁護士無料相談を実施。	県内全域	https://niigatakenboron.jp	幹事団体
その他	新潟地域若者サポートステーション	就労支援	就労に悩む15歳～49歳までの方を対象に、相談支援を中心にセミナー、職場体験（ジョブトレーニング）など様々なプログラムを通して一人ひとりが自分らしく働けるようにサポートします。	就労に悩む方やそのご家族に対して相談支援をしています。一人ひとりにあわせた支援プログラムを作成し、「働くことの悩み相談から職場定着まで」就労支援を実施します。具体的には、担当制の相談支援（キャリアコンサルティング、心理相談含む）、セミナー（コミュニケーションやビジネスマナーの講座等）、職場体験（ジョブトレーニング、職場見学含む）等のプログラムを通し、職場定着までサポートします。 また、当所に来れない方がいた場合には、訪問相談や出張相談も行なっています。必要に応じて支援ネットワークを利用し、ハローワークや福祉機関含む適切な外部支援機関・団体等へ誘導したり、連携して支援する場合もあります。	新潟市	https://saposute-niigata.net/	
社会福祉法人	新潟いのちの電話	自殺対策／メンタルヘルス／ひきこもり／いじめ・不登校・学校生活での悩み／妊娠・出産・子育て／ひとり親家庭／配偶者暴力（DV）／障害者／高齢者	孤独の中であって、助け、慰め、励ましを求めている人に対して、電話等による対話で、その人が再び勇気を持って生きていけるよう援助することを目的として、年中無休の電話相談とインターネット相談を行っている。	新潟県の自殺者があまりにも多いことから1984年に始められたボランティアによる電話相談活動です。 孤独の中であって、助け、慰め、励ましを求めている人に電話等による対話で、その人が再び勇気をもって生きていけるよう適切な援助を行うことを目的として活動しています。現在は年中無休の電話相談と、電子メールによるインターネット相談を、相談者、相談員共に匿名で受け付けています。 相談を受けるのは、「聴く」ことの研修を受けた市民ボランティアで、相談者と同じ目線で話を聴くことを心掛けています。 相談内容は寂しさ、孤独、生きづらさなどの悩みが最も多く、これに次いで、精神的な病気の苦しきや、職場、家庭などにおける対人関係の悩みも多くなっています。	県内全域	https://www.nidenwa.jp/	幹事団体

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

NPO	特定非営利活動法人自立支援ネットにいがた	自殺対策／メンタルヘルス／生活困窮者／就労支援／ひきこもり／犯罪をした者等・再犯防止／障害者／高齢者／その他（居住困難者、多重債務・ヤングケアラー対応）	当団体は2004年1月から住居のない人への支援を行っている。住居の提供、生活支援、就労支援、家計管理サポート、医療受診サポート等々を行いながら、孤立しないように、孤独にならないように、日常的に声掛け、見守りを行っている。	1)住居の提供。シェアハウス型アパート2棟を自主運営。単身者用全15室。個室以外は全部共用。入居者の条件は炊事、洗濯、掃除等々の身の回りの事は自分でできる事。受入れ不可：共同生活が苦手な人。家族で住みたい人。動物を飼いたい人。障害が重度の人。依存症の人（薬物、アルコール、ギャンブル等）2)孤立しないよう「声掛けや見守り」を行っている。当アパート入居者は日常的に声掛けをし、他所のアパート入居者には定期・不定期で電話や訪問を行っている。3)居場所作り、仲間作り。体の故障や高齢のため就労が難しい人等の居場所作りとして、乾燥野菜・果物作りをしている。乾燥野菜・果物はスーパーオオロクやピア万代で販売している。他、クリスマス会や料理教室、畑作業、乾燥野菜終了後のお茶のみ等で仲間作りをしている。4)精神福祉手帳や療育手帳等の取得のサポート。5)高齢者施設への転居、訪問介護、訪問看護の利用等の手続き支援。	新潟市内	https://sien-niigata.org/	
任意団体	ながおか認知症の人と笑顔でい隊	高齢者	現場は認知症の方も暮らしやすまちづくりに向けて認知症関連の啓発活動などを主に行っています。	認知症の方や身寄りがいない方、生活困窮者などへの支援について	長岡市		
NPO	NPO法人Neoアスビレッジ	生活困窮者／子どもの貧困／妊娠・出産・子育て／児童虐待／高齢者／外国人・在外邦人	地域食堂や多文化交流、体験活動を通して、世代や国籍を越えて人がつながる居場所を運営しています。 孤立・孤独を防ぎ、社会参加につながる土台づくりに取り組んでいます。	当法人は、新潟市東区を拠点に、毎週開催する「ネオアス村地域食堂」や、多文化交流会「みんなカフェNeo」、学習支援や体験活動を行う「まなびの広場・てづくり広場」などを実施しています。 食事の提供のみならず、子どもから高齢者、海外にルーツを持つ方まで、安心して集える場や、役割を持って関われる居場所づくりを進めています。 参加者からは「ここにくると安心する」「こういった場所があるのはありがたい」「ここで顔見知りができた」といった声が寄せられ、地域の中で自然と繋がりが生まれ、孤立を防ぐ場として機能しています。 今後は、地域食堂を起点に、制度や就労につながる前段階の「社会参加準備プログラム」にも取り組み、社会と接点を取り戻す機会を地域の中に広げていきます。	新潟市	https://neoasuvillage.or.jp/	
任意団体	新潟県退職者連合	高齢者／その他(主に高齢者の生活等に関連する医療、福祉)	「新潟県退職者連合」は、連合新潟の傘下にある労働組合の高齢者・退職者組織であり、連合新潟と連携し、平和で豊かな社会を実現するための諸活動を展開し、退職者及び高齢者に係る社会福祉の向上を図ることを目的としています。 そして、その目的を実現するための活動を行っています。	本会は、退職者、高齢者で構成されており、高齢者に関する福祉や女性がかかえる貧困等の問題について、常日頃から関心を持ち、これらに係る講和などの「研修会」等も実施してきています。 これまで、「孤独・孤立」に特化した活動は、あまりありませんでしたが、「孤独・孤立」の問題は、高齢者等の一人暮らし、貧困問題との関連性も大きく、今後大きな関心を持ってのぞんでいきたいと考えています。	県内全域	https://koueikyouniiigata.jp/	

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

社団法人・財団法人	新潟県相談支援専門員協会	障害者	新潟県内の障害者総合支援法に基づく相談支援の従事者のネットワークを作り、それぞれの地域の情報交換や相談支援技術について学び合うことにより、障害児者の地域生活の向上に寄与することを目的として活動している。	活動内容 (1) 相談支援に関する人材育成及び研修に関する事業 (2) 相談支援従事者相互の情報交換に関する事業 (3) 相談支援事業の運営及び業務の受託 (4) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業 人材育成や制度や知識の理解により、障害児者の生活を向上させる取り組みを行っている。 自立支援協議会への参画により、県内各地域で課題を持つ障害児者の権利擁護にも取り組んでいる。	県内全域	https://www.ng-soudan.com/	幹事団体
社会福祉法人	一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会 新潟県パーソナル・サポート・センター	生活困窮者	県内の町村部で仕事や生活に関する困りごとを抱えている個人や世帯に対して経済困窮や社会的孤立などの問題解決に向けて、課題の整理と寄り添い伴走支援で包括的かつオーダーメイドの相談支援を行っている。	複合的な課題を抱えている人に対して問題解決のプロセスを寄り添う。とくに多重債務や離職、家族との関係に問題を抱えメンタル不調を訴えているケースに対してはチームで支援にあたる。他機関連携がスムーズに行えるよう支援調整会議(支援会議)などを活用。	町村		幹事団体
行政機関	関川村役場	生活困窮者／ひきこもり	重層的支援体制整備事業に取り組んでいる。その中で、ひきこもり対策の支援を行っています。	重層的支援体制整備事業に取り組んでいる。その中で、ひきこもり対策の支援を行っています。	関川村		幹事団体
行政機関	新潟市	福祉分野全般	包括的支援体制の整備	包括的支援体制の整備の中で、孤独・孤立対策を推進していく	新潟市		幹事団体
NPO	特定非営利活動法人ふぁみりり	自殺対策／子どもの貧困／妊娠・出産・子育て／児童虐待／ひとり親家庭／配偶者暴力（DV）	市内で生活する親子の不安や生きづらさをほんの少し軽減し、子育ての苦労や喜びを地域みんなで分かち合えるような取り組みを行っています。	子育て家庭訪問支援 妊娠中や子育て中の家庭を対象に、ご自宅を訪問して家事や育児をサポートします。家事はもちろん、相談対応や買い物、子守りやお留守番、行政サービスの紹介や申請のお手伝いも行います。妊娠期から子育て家庭が安心して暮らせるよう、環境づくりを支えます。 https://famireli.amebaownd.com/pages/8899087/page_202504190945?fbclid=PAVERFWAQdvf9leHRuA2FibQIxMQBzcnRjBmFwcF9pZA8xMjQwMjQ1NzQyODc0MTQAafMdN0XtRld1f1yjla99a5T1taDg6KaOqilRqqGG790MhH60pJP7xoNzBHJdg_aem_rNy5hx72vo2qTSrp8NkHRA	上越市	https://famireli.amebaownd.com/?fbclid=PAT01DUAQeRzVleHRuA2FibQIxMABzcnRjBmFwcF9pZA81NjcwNjczNDMzNTI0MjcAAacf4lC3c7TdeJ-gA4FRcpL0EgBH9OGNpehuZVyQZ5CVmi9CNQh6qU2XxUhSeQ_aem_tYepmvotgW6t-OA91Vm_KA	
任意団体	任意団体ダイバーシティ&インクルージョン	自殺対策／メンタルヘルス／生活困窮者／就労支援／ひきこもり／いじめ・不登校・学校生活での悩み／子どもの貧困／児童虐待／ひとり親家庭／障害者	主に障害者、貧困者に対して無料の研修、セミナーを行いアドバイスを行う	社会問題に関する研修、セミナーを参加無料で開催。障害者、貧困で悩んでいる方への相談。	新潟市、長岡市		
行政機関	新発田市	その他(福祉全般)	孤独・孤立問題に起因する・しないに関わらず、様々な理由で生活に困窮している（「生きづらさを抱えている」を含む）者に対し、自立した生活を送ることができるような支援活動を行っている。	生活困窮者が、自身が望む自立した生活を送ることができるよう関係機関と連携を図り	新発田市		

新潟県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員一覧（R8.6.19現在）

任意団体	ちゃい文々イラストエッセイ 展事務局	メンタルヘルス／妊娠・ 出産・子育て／その他 (多様性／子育て・コ ミュニケーションを扱 う)	イラストエッセイ展示と体験型ワークショップを通じ、孤独・孤立の予防と人と人のつながりづくりに取り組む。	漫画エッセイスト・ちゃい文々は、2003年から20年以上にわたり「子育て・コミュニケーション・多様性・病気の経験」の4テーマで講演・ワークショップを続けてきました。いずれも多様性（ダイバーシティ）を根底に置き、「いろいろな人がいる、それでいい」という視点から、自分や他者への理解を深め、多くの方に「ひとりじゃない」という気づきを届けています。近年はイラストエッセイの展示と体験型ワークショップを各地で開催し、相談窓口には届きにくい人にも「ふらっと行ける場所」「安心して話せる場」を提供。孤独・孤立対策推進法の趣旨に沿い、地域の規模や特性に合わせた予防的・啓発的な取り組みを行っています。	県内全域	https://www.chaibun-bun-art.com/	
------	-----------------------	---	---	---	------	---	--